

企画部長 説明要旨

企画部長の 北村でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議案等の説明に先立ちまして、企画部における6月議会以降の主な動きについて御説明いたします。

まず、新たな総合計画につきましては、9月19日に開催された行政改革・基本計画等に関する特別委員会において、知事、副知事も出席のうえ、原案について説明させていただきました。

今後は、本議会閉会後にパブリックコメントを開始し、いただいた御意見を踏まえて、12月議会へ計画議案を提出させていただく予定です。

次に、文化振興につきましては、毎年11月を「きのくに文化月間」としており、今年度は、県内全域で58の「きのくに文化月間連携事業」が実施される予定です。引き続き、市町村や文化団体と連携しながら、本県の文化芸術の継承及び持続的な発展に向けて取り組んでまいります。

国際交流につきましては、7月26日から8月2日までの日程で、第1回在外和歌山県人会次世代リーダーズの集いを開催しました。在外和歌山県人会の代表青少年13名が来県し、県内の高校生と郷土の歴史を学習するとともに、本県と県人会の交流活性化についてプレゼンテーションを行いました。

また青少年交流では、7月に中国・四川省から9名を、9月にスペイン・ガリシア州から15名を受け入れるとともに、本県からは8月に中国・山東省へ27名を、中国・貴州省へ24名を派遣し、次世代を担う若者同士の交流を促進しました。

統計調査につきましては、10月1日を調査期日として国勢調査を実施いたします。既に9月20日からオンライン回答が開始されており、

加えて調査員が順次各世帯に調査関係書類を配布しているところです。

調査の実施に際しては、市町村との連携を一層強化するとともに、増加する外国人に適切に対応するなど、調査の円滑な実施に向けて取り組んでまいります。

最後に、第79回国民スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ」につきましては、本県から選手258名が出場します。既に9月6日より会期前（かいきまえ）競技が開催されております。

また、10月25日から27日まで開催される全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ2025」には、個人競技32名、団体競技2チームが出場しますので、本県選手団への熱い応援をお願いいたします。

続きまして、今議会に提出しております企画部関係の議案等について、御説明いたします。

<法人の経営状況報告>

法人の経営状況報告書でございますが、地方自治法第221条第3項に定める法人の経営状況を説明する書類として、一般社団法人和歌山県私学振興基金協会及び公益財団法人和歌山県国際交流協会の経営状況報告書を提出しております。

私からの説明は以上でございます。

御審議の程、よろしくお願いいたします。